



東電トップは原発事故に責任をとらない

福島原発の事故で多くの人の日常が奪われた。亡くなった人もいる。双葉病院では入院患者、入所者46人が移動する過程で亡くなった。この事故について、東電経営トップが業務上過失致死で起訴されたが、地裁で無罪。誰にも責任は無いと言う。

判決では

国の地震調査研究推進本部の「長期評価」から、15m余の津波が来ると社内会議で報告されたのに無視。

裁判所は「原発の運転を停止する義務を課すほど巨大な津波が来ると予測できる可能性があったとは認められない」とし、原発に求められる安全性は「放射性物質が外部に放出されることは絶対にならない」という安全性ではない（いずれもNHK）

東海第二原発では同じ長期評価に盛り込まれど対策。全外部電源を喪失し、非常用発電機一台が停止。が、二台は残り福島原発のようになるのを阻止。

原発建設時に

原発を建設する時、東電が「想定外の原因で事故は起きる。その時、放射性物質が『外部に放出される事は無い』とは云えない」「大津波が来ると云う予測があっても対策は執りません」と云っていたら、誰が原発の建設を認めただろう。

関西電力ではトップに工事業者から大金が環流。東電はどうか？ あなたはどう思われますか？

他の原発では
のHPより)とした。

馬の背洞門

神奈川県三浦市三崎町城ヶ島

二〇一九年九月



三浦半島の先端の城ヶ島。その太平洋側のほぼ中央に、馬の背洞門がある。

昔は、周辺は海。小舟で洞門を通ることができたそう。一九二三年の関東大地震で、一・五m隆起して、陸上の橋になったという。洞門越しに房総の山々を見ようと、観光客がひっきりなしに訪れる。

目の前の浦賀水道を大きな船が通る。コンテナ船だったり、LNG船だったり・・・。

先の台風15号の時は、ここはどんなだっただろうか。台風の中心は三浦半島を横切っている。「台風が上陸」と云うには、海から上がって25km以上進まなければならぬそう。三浦半島は細いので少し進んだら東京湾に出ってしまった。その為、「三浦半島に上陸」とは云われなかったそう。

先週は休みました。

